

数学科 中学校 3年

単元名 円の性質

啓林館「未来へひろがる数学3」(補助教材)
移行措置により追加

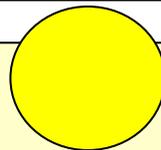
本時の流れ (第5時)

本時の目標の確認

課題を確認する

【課題】

中心の分からない円がある。手もとにあるのは、長方形の紙と目もりのついていない定規と鉛筆だけである、これだけを使って円の中心を求めよう。



課題解決について確認する。

- ・グループで円の中心を求める。
- ・中心が本当に円の中心かどうか確認する。(コンパス)
- ・なぜそうなのかを考える。(証明)

- ・長方形の1つの角は 90° であること。
- ・円周角が直角である弧は半円であること。
- ・直径をひくにはどうすればよいか。を必要に応じて個別に指導し、円周角を使って直径がひけるようにする。

個人・グループ

- ・個人で試行錯誤しながら円の中心を求める。
- ・グループで試行錯誤しながら円の中心を求める。

- ・円周角を使って直径を4~5本ひき、直線が1点で交わることを確認する。
- ・グループごとにホワイトボードに円の中心を求める方法とその証明を端的に記入する。

全体交流

- ①円の中心の求め方を確認する。
 - ・円周角(直角)を使って直径をひく。
 - ・2本の直径の交点を中心
- ②円の中心の求め方の説明となぜその方法で円の中心が求められるのか説明(証明)する。

ホワイトボードを使って円の中心を求める方法を説明(証明)する。
数学的な表現を適切に用いて説明(証明)できるようにさせる。

学習のまとめ
本時の振り返りと次時の予告をする

活用の力を育てる評価の視点

円周角の定理の逆を利用して、円の中心を求める方法を考え、なぜそうなるのかを考え説明(証明)することで、円の性質についての理解を深める。

<数学的な見方や考え方>

評価問題

単元の流れへ

HOME